



2025年5月31日～6月1日
スーパー耐久 Rd.3
富士スピードウェイレースレポート
QF 6th / RACE 6th

Photo by : @gumiyyayamashita
@gotake.school
@andracejp
Thanks!!

予選 Qualifying

今回は、Eドライバーとして参戦しました。
レースに合わせてセットの確認…の予定でしたが、
「今の実力をしっかり出してこい！」と監督に言っていただき、
しっかり走らせてもらうことになりました。
しかし、E,Fドライバーは2人で30分しかなく、与えられた周回数は2周。

もらったこの2周で実力を出せるようにコースインしていきます。
コースインでは、路面温度も低く、丁寧にタイヤを温めます。

1周目はまだタイヤのグリップが来ていないことを感じながら、
後ろに車両が来たためポジション取りをしていきます。

2周目、「ここで決めなきゃ！」という気持ちからスピードを上げていますが、まだグリップが少ない、その中で攻めていきますが、ヘアピンでボトムを上げすぎてスライドさせすぎて失速。
7秒台となってしまいました。

本当はこの周で帰らなければならなかった所でしたが…ダンロップを立ち上がるまでタイムがマイナス表記できていたため泣きの1回をお願いし、3周目になんとか6秒台、3番手を獲得しました。

ベストは出てほっとしたものの…次の周もマイナス表記できていたこともあり、限られた中でまとめきれなかった事が反省点です…。



決勝 Race



チーム予選結果は6番手からスタート。
私は3回走る予定…でしたが、レーススタート時間が近づくにつれて雨足が強まり、1時間のディレイ。
23時間レースのスタートとなります。

初めのステイントは19時を超えたあたり。初めは安定して、走行し周回数を重ねていきます。
が、40分走行したころ、スープラコーナーでクラス違いの車両を交わし、走行しているとイン側へ車両が飛び込んでこられ、私は真ん中にいたため避けることができずにはまってしまいました。

ハンドルもずれてしまったため緊急ピットイン。

痛々しい車の姿に心が痛くなり、また何か事故を起こさないために出来ることはあったのではないかと頭をぐるぐるぐるぐる…

悔しい、というよりも自分の情けなさを感じ、大変落ち込みました。

しかし、メカさん方が、迅速なスピードで車を走れる状態してくれ、コースへ復帰。
メカさん、チームの皆さん、本当にごめんなさい。
そしてありがとうございます。

決勝 Race

落ち込んでいてももう時間は戻らない。

レースはまだ続いている、切り替えて次のステイントに向けて準備をしよう。と切り替えていきます。

2ステイント目は、2時30分からのはずが、夜中の霧でSCになった影響もあり、ドライバー交代のタイミングにズレが生じていました。そこから寝るに寝れず、でも体を休めるように試行錯誤しながら、いよいよ交代。明け方4時頃、コースインしていきました。

がしかし、

コースインと共に、また霧が発生し、SCカーが導入。

「すぐに晴れるだろう！」「さっきの汚名を返上出来るようにしよう！」と意気込むも、中々霧は晴れずに、むしろ濃くなっていく一方。次第に夜が明けてきますが、霧に包まれ、1台先の車も見えなくなっていくほど。

「あーこれ止まるかもな…」と思った矢先、赤旗の表示が出されました。

時間的にもこれで私のステイントは終わり。思う存分走れなかつたのは自分がすべて招いてしまったタイミング。そこからこの霧も引き寄せてしまったのかな…？と自問自答を繰り返しますが答えは出ない。

とにかく苦しい24時間レースでした。



モヤモヤとした24時間レース。
でも、とても考えさせられたレースとなりました。

どんな時でも謙虚に、自分の今の実力を受け止めて、上手くなることだけを考えて、辛くても、楽しい！やってやった！って笑える日が来た時にとことん笑えるように、

怖がらず、必死に、自分と、車と向き合っていきます。

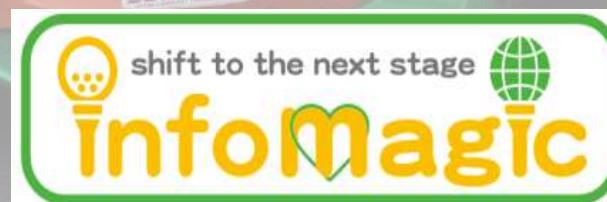
次戦は5年ぶりのS耐×SUGO！
これまたデンジャラスサーキットですが、久しぶりのSUGO楽しんで、しっかり戦ってきます。

応援、
ありがとうございました！

岩岡万梨恵



Supported by





今年も「ナミックス 株式会社」様に応援して頂いております。

ありがとうございます！！



01

オンリーワン ナンバーワン

当社は「尊電」「絶縁」の相反する技術をあわせ持つ強みを背景にグローバルに事業を展開しています。この実績が認められ、2015年には、全国の中小企業の中で優れた実績をあげた企業に贈られる「グッドカンパニー大賞」にて「グランプリ」を受賞しました。また創業70周年を機に本社生産工場をリニューアル！2017年5月に竣工いたしました。生産能力を一気に7割引き上げ、これに世界トップシェアを持つ製品群のブランド力で、オンリーワン・ナンバーワン企業を目指します。

「ナミックスはエレクトロケミカル材料の研究・開発、製造、販売を行なう、電子部品材料メーカーです。

ナミックス株式会社

普段使っているテレビやスマートフォン、カメラ、LED照明、自動車等の心臓部である基板や半導体などの電子部品にナミックス様の製品が使われています。

～目に見えなくてもあなたのそばに～

私たちの生活を支えてくれている、
それが**NAMICS**株式会社です！